

元気だより

2023年7月、神戸にプロバスケットボールチーム「神戸ストークス」が誕生しました。以前は「西宮ストークス」として西宮市を拠点にプレイしていましたが、男子プロバスケットボールリーグ B.LEAGUE(Bリーグ)が掲げる2026年から新設される新リーグの参入を目指し、拠点を神戸市に移し、「神戸ストークス」にチーム名を変更しました。ちなみに神戸ストークスは B.LEAGUE に所属する兵庫県唯一のプロバスケットボールチームで、兵庫県の県鳥であるコウノトリの英語名がチーム名の由来となっています。

KOBEシニア元気ポイントは、スポーツを通して神戸の街を盛り上げる神戸ストークスを応援するために、10月と11月にポートアイランドのワールド記念ホールで行われたホームゲームにおいて、準備から当日の運営補助などの活動をお手伝いしました。

10月28日(土)には、試合開始前に神戸市と神戸ストークスの間で締結する包括連携協定の調停式が行われました。この際、活動者がボランティアとして参加していること、神戸ストークスのチームカラーをモチーフにしたコラボビブスについても紹介いただきました。

さらに、神戸市長をはじめとした神戸市及び神戸ストークス関係者に加え、KOBEシニア元気ポイントの活動者も調停式での記念撮影に参加しました。



前列中央左：土屋尚士さん(70)、前列中央右：北川八重子さん(73)

がんばれ! 神戸ストークス 活動レポート



10月24日(火)、27日(金)、11月3日(金)の3日間、各日程で約20名の活動者が試合前日の準備作業として、来場者に配布するチラシやポケットティッシュなどのノベルティの封入作業を行いました。

その数はなんと1試合分あたり約4,000~5,000袋にも及びます!3日間とも活動終了時間が予め決まっていたため、活動者のみなさまは一丸となって作業してくださいました。

チラシを仕分ける人、封入する人、封入が完了したものを数える人など、それぞれが役割に分かれて効率的に活動して下さったおかげで、予定通りに作業を終えることができました!

作業の合間に空き時間ができた場合は、試合会場の設営風景やアリーナ裏側などを巡るツアーを開催しました。普段は見る事ができない裏方の現場を目の当たりにし、活動者のみなさんは興味津々で作業風景を見学されていました。

10月25日(水)・28日(土)・29日(日)、11月4日(土)・5日(日)はいよいよ試合本番です。各日程で約30名の活動者が会場内外に分かれて活動しました。

会場内では、来場者への配布物の受付補助や会場内の案内誘導を、会場外では最寄り駅であるポートライナーの市民広場駅からワールド記念ホールまでの案内誘導を行いました。

どの日程も試合の開始時間が近づくにつれ、来場者が一気に訪れ、道中は多くの人で混雑していましたが、会場外を担当する活動者はプラカードを持ちつつ会場に向かう人に丁寧に道案内をし、会場前では来場者の列整理も行っていました。

会場内でも来場者に配布物を渡したり、会場内の案内も併せて行いながら、来場者がスムーズに座席にたどり着けるようサポートされていました。

活動終了後には試合を観戦して帰る活動者もおられ、「バスケットボールの試合を生で観戦するのは初めてで、得点がどんどん入っていくのを見てると楽しい。何より選手がみんなカッコいい!」「前日の準備で参加しましたが、バスケットボールのコートができていく過程は知らなかったので勉強になりました」「バスケットボールの試合や神戸ストークスのことは全然知らなかったけど、今回の活動を通じてバスケットボールの魅力を少し知ることができた。神戸ストークスさん、応援しています!」といった感想をいただきました。



活動者・施設インタビュー

北区の活動受入施設「神戸市立ひよどり台児童館」で活動者の畠山さん(70)と館長の田中さんにお話を聞きました！
インタビューの詳細はこちらから→



この制度に登録したきっかけはなんですか？

田中さん この地域では子育てのサポートが盛んで、KOBESINIA元気ポイントに登録する前から協力いただける方々と手を取り合い、子どもたちを見守ってきました。制度が始まった当初は高齢者施設だけだったと思いますが、館長会議で児童福祉施設にも拡大することが紹介され、それならば受入施設になり現在ボランティアに来ていただいている方にポイントで還元しようと思い、登録しました。

活動者はどういった存在ですか？

子どもたちにとっては、人生の先輩であり、ちょっとした会話をきっかけに学ぶこともたくさんあるように思います。最初は「知らない人」だったのが、何度か顔を合わせるうちに、「前に遊んでくれた人」という風に、少しずつ打ち解けてくれる子もいます。何より、職員は常に手一杯なので、助けていただけただけで、感謝の気持ちでいっぱいです。

これから活動を始められる方にアドバイスを！

施設や活動に対して良い意味で期待しすぎないことかな、と思います。ボランティア活動だから、と肩に力を入れすぎずに『無理だな』と思ったら辞めたってかまわないと思います。それができるのがこの制度の良い所ではないでしょうか。ぜひ気楽な気持ちで始めてみてはいかがでしょうか？



児童館で活動することになったきっかけは？

畠山さん 保育所でパートをしているのですが、あやとりが好きな子どもから「もっと教えてもらいたかった」と言われて。その子どもが児童館に行くことを知り、児童館にボランティアを申し出たところ、快諾していただきました。

活動内容はどんなことをされていますか？

今は折り紙とあやとりを中心に教えています。以前に働いていた方が『折り紙検定』というものを考えていて、やってみようかという話になっていたのですが、私なりに考えてとりあえず始めてみました。最近では月に1回ストーリーテリングもやっています。2011年の震災を機に東京から友人がいる神戸へ移住してきたのですが、東京にいる時に10年ほどストーリーテリングの勉強をしていました。いつか機会があったら、と思っていたので披露する場ができて嬉しいです。

これから活動を始められる方にアドバイスを！

ボランティアってとにかく気楽で自由にやれるのがいいですね。児童館の方々の協力もあり、見切り発車で始めても、そこから得られるものはたくさんありました。途中で辞めるかもしれないけど、それでもいいからやってみよう、という思いを大切に活動に臨んでみてはいかがでしょうか？

北区

神戸市立 ひよどり台児童館
北区ひよどり台2-1-1

☎078-741-9880

80名を超える学童保育利用児童がいます。



募集中の活動

- ✓ レクリエーションの補助
- ✓ 利用者が利用する場所の簡易な清掃・消毒
- ✓ その他：職員が行う業務の補助

受入施設・活動者交流会

活 動 報 告

北神区

9月26日(火)14:30~16:00
北神区文化センター
参加者14名・参加施設4施設
[交流会の詳細はこちらから→](#)



<67歳から84歳までの方が参加されました>
先輩活動者として84歳の猿谷さんにお話を伺ったのですが、「施設の方から『もういない』と言われるまで、活動を続けたい。あと10年は頑張りたい!」という力強い言葉に、参加者のみなさまは真剣に聞き入っていました。

北区

9月28日(木)14:30~16:00
北区文化センター
参加者23名・参加施設7施設
[交流会の詳細はこちらから→](#)



<65歳から85歳までの方が参加されました>
先輩活動者の通堂さん(76)は、9年前から鈴蘭台にある施設「takk」でボランティア活動をされています。ご自身の健康にも役立っているようで、受け入れてくださっている施設にも感謝の気持ちを述べられていました。

灘区・東灘区

10月12日(木)14:30~16:00
灘区文化センター
参加者37名・参加施設7施設
[交流会の詳細はこちらから→](#)



<66歳から89歳までの方が参加されました>
先輩活動者としてお話しくださった市井さんは89歳で、年齢関係なく楽しんで活動されている様子が伝わり、驚きとともに活動者のみなさまの心に響いたようです。

中央区・兵庫区・長田区

11月27日(月)14:30~16:00
神戸市産業振興センター
参加者25名・参加施設7施設
[交流会の詳細はこちらから→](#)



<65歳から86歳までの方が参加されました>
先輩活動者の宮下さん(78)は、施設で週1回レクリエーションの補助をしています。帰る時間になると「もう帰るの?」と声をかけられるようで、時間が過ぎるのがあっという間なんだとか。

令和5年度のポイント交換申請が始まります!



ポイント交換申請書をお送りしますので、必要事項をご記入の上、添付書類と共に返信用封筒に入れてご返送ください。令和5年度のポイント交換申請の締め切りは、令和6年3月31日までです。※当日消印有効

お問い合わせ

新しい活動受入施設やご近所の施設が登録されているかなど、活動場所に関するお問い合わせもお気軽にご連絡ください

KOBEシニア元気ポイント事務局

TEL.078-335-6543

〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-9-1 センタープラザ1007
●受付時間: 平日 9:00~17:00(土日、祝日、年末年始を除く)

FAX 078-335-6542

メール desk@kobepoint.jp

<https://kobepoint.jp> **KOBEシニア元気ポイント**

本事業は、神戸市からの委託を受け実施しています。